

議会報告会報告書

開催日時	平成31年4月17日（水）午後7時00分～8時00分	
開催場所	松ヶ崎地区市民センター	
出席議員	堀端 脩、殿村 峰代、田中 正浩、米倉 芳周、中村 良子 山本 芳敬、山本 節	
	司会進行者	殿村 峰代
	報告者	米倉 芳周、山本 節、山本 芳敬、堀端 脩 中村 良子
	記録者	米倉 芳周
参加人数	26名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 中島清晴様

平成31年4月19日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第1班

代表者 堀端 脩

【第1部の主な質疑応答・意見等】

問 議会へのお願いという趣旨になるが、現在、松ヶ崎小学校の児童数の減少が著しい。全児童で50名に満たない状況である。空き教室も多く、今後を考えると大変、危機感をもっている。過去、当自治会としても、校区の変更も視野に入れ、他の自治会へ働き掛けたこともある。また、市教育委員会へも相談をしたが、その後、進展はない。子どもたちにとっても、隣同士なので、日頃、遊び仲間だが、小学校は違うという事態も起きている。

また、他の校区のことだが、教育委員会が中心となって、港小学校区と第四小学校区を調整して、児童数の改善を図った経緯があるにも関わらず、この地域においては、手を差し伸べていただけない。教育行政の在り方という点において疑問がある。

この件について、今後、議員の方々にもご教授いただきたい。

答 学校区を変えるということになるが、これは、大変重い問題と考える。議会へのお願いということで、議会及び教育委員会にも現状を伝える。ただ、地域もこの件については、引き続きご努力を願う。

問 県知事が三渡川と百々川に関し、県は予算をつけ河川の改修を行うことを言っていたが、特に百々川の改修について現状はどのように。

答 仰せのとおり、県は防災に関し力を入れている。百々川もしかりで、今後、調査に入り、改修計画の結論を出すとされている。

【第2部 住みよいまちづくりについての質疑・応答】

問 市役所での申請や相談に行ったとき、あまりにも各課の所在が屋外に散在していて、非常に不便を感じる。この状態を考える必要があるのではないか。

答 現在、「豪商のまち」立地適正化計画を推進している中で、公共施設の整備も含まれている。観光交流センターの整備、福社会館の整備もそれにあたる。長期的なスパンとなるが、本庁舎の裏側の民地を市有地として確保した。これらの土地を活用して今後、市民が、ワンストップで利用できることを念頭に整備を考えている。

問 空き家で困っている。自治会の約半分が空き家というところもある。今回、不良空き家対策で300万円の予算が計上されているが、その内容は。

答 従来の道路に面した国、県の不良空き家対策費、1軒につき30万円の補助金は現在もあるが、この予算は、別途、松阪市独自の対策費である。最大で1軒につき、25万円が補助される。総額が300万円である。屋根や壁の崩落といった不良空き家が対象である。

問 市の空き家対策の現状は。

答 自治会の協力にて空き家状況のデータが出来上がった。それによると 759 軒が住めない状態である。しかし、まだ、特定空き家の指定はされていない。今後、このデータを基に対策を講じている計画である。

問 松ヶ崎地区は側溝の排水が悪く、悪臭もあり、生活に支障をきたしている。大雨が降ると流れが著しく悪化する。この要因は、側溝が古く、石積みで作られていて、細く、浅い構造で、加えて各家の真ん中に位置しているので、詰まっても改修が難しい状況にある。コンクリートの側溝に改修をお願いしたい。

答 一度、常任委員会等で現状視察を計画する。当該自治会も市へ現状を訴え、要望を上げていただきたい。